

一般質問



渡部 茂 議員 (自・未)

町会支援について

町会・自治会活動の活性化のため、支援制度の再構築を図ることになったが背景は、地域からの声はあったのか。町会・自治会に行っている独自事業にも、状況に応じて支援を。今後、町会・自治会と区との協働が進むことを勘案すると、今以上に地域センターでのワンストップの対応が重要では。本庁舎で行っている相談支援等を地域センターで行うべきでは。一部の地域センターで扱っている戸籍事務等を、全地域センターで行うのは。区長 人口減少社会の到来や地域福祉等の課題を見据え、町会・自治会活動の活性化にむけた取り組みが必要となった。おのおの好意的な意見が寄せられている。支援制度を再構築する中で検討していく。庁内の関係部署と連携して対応しており、既にワンストップ窓口の機能を果たしていると考え。支え愛・ほっとステーション

を地域センターに順次設置し、福祉の相談機能を拡充している。町会支援など地域事務への需要増等も考慮すると、難しい課題だと認識している。

品川の教育について

平成28年2月に品川区教育フォーラムが開催されるが、その意義は。品川版コミュニティ・スクールについては、学校支援本部の運営に際しては、どのような方の活用等を想定しているのか。学校の支援の方法は。市民科の今後の方向性等は。学校の適正配置に関する審議会の設置を。あらゆる方策を用いていじめ根絶に努めているが現状は。取り組みを他の自治体へ発信すべきでは。教育長 これまでの取り組みを振り返り、地域とともにある学校づくりという目標を保護者や地域の方に理解していただくこと。地域と学校を結ぶかけ橋となる方を想定している。各校の取り組み状況を踏まえて検討していく。カリキュラム等の見直しを含めて検討していく。今後の教育のあり方を検証・検討していくことが必要と考えている。H.E.A.R.T.S.による本人への支援等、学校と連携した体制を整えている。各自自治体で実情が異なるため発信は考えていない。

品川の公園について

品川公園について 品川公園等が公園内を築き上げるような仕掛けを。改修に合わせ、遊具の設置やイベントの開催など、地域や利用者等と協議を重ねて進めては。区内公園等の事件・事故の未然防止の観点から、防犯カメラや照明器具の設置を求めるが、見解を。防災まちづくり部長 老朽化が進んでいることから段階的に再整備を行う計画だ。利用者やスポーツ団体等の意見を聞きながら検討していく。子どもたちのアイデアを生かした遊具コーナーやプレイパークの設置を検討している。様々な方々の意見を聞きながら進めていく。日ごろから警備会社による巡回を実施している。事案により更なる対応が必要な場合には防犯カメラを設置している。

市町村交流について

これからの宮古市への支援は、宮古を訪れること、宮古の産品を購入すること、交流することだと思いが、見解を。PTA関係者が築き上げた交流が続くよう、来年度以降も品川の親子が宮古を訪れ、自然を体験し交流する活動を支援することはできないのか。総務部長 税務課で新たに口座振替の登録を行った区民に、抽せんで宮古市の海産物の詰め合わせを送っている。引き続きこのような取り組みを通じ交流の輪を広げていきたい。PTA連合会と宮古市との交流などは望ましいものと考えており、様々な支援方法について検討していく。

環境の取り組みについて

品川区第二次環境計画に紙資源削減の目標数値がない理由は。庁舎内の紙使用量についてはここ数年目標基準を大きく上回っており課題と考えるが、所見を。職員の意識啓発等に取り組むべきでは。ICTを導入しペーパーレス化を進めることは、紙資源の削減や費用面などで効果があると考え、所見を。区議会でもICT化の議論がされており、議会だけでなく行政もともにICT化をしていくことは大きなメリットと考えるが、所見を。太陽光発電等の助成件数とその評価は。エネルギーの地産地消については、どのように考えるのか。エコに関する工事助成の利用実績は。再生可能エネルギーの導入とエネルギーの高効率化に対する将来の展望は。区長 紙の使用の削減は、区が一事業者として取り組むものであり、区独自の環境マネジメントシステムに目標を掲げている。27年度は現段階で26年度の使用枚数を下回っている状況だ。研修等の意識啓発を通じ、更に紙の使用の削減を図っていく。事務の効率化や資源の省力化が着実に図られている。今後は、議会との連携も図りながら、ICTの更なる活用に



大倉たかひろ 議員 (民・無)

ついて検討を進めていく。家庭用は25年度が58件、26年度が54件、業務用はそれぞれ10件であり、区民の需要に比べられていると考える。全てのエネルギーを地産地消で賄っていくことは困難だと考える。25年度が150件、26年度が155件であり、27年度は現在157件で予想を上回る実績だ。再生可能エネルギーや高効率化は広域的に取り組まれており、現在、国ではCO2削減目標等を示し、都でも環境基本計画の改定を進めている。

子どもをとりまく環境と教育について

ネットを介したいじめやSNS等から犯罪に巻き込まれるケースがあるが、子どもがトラブルに巻き込まれる実態をどの程度把握し、対策を立てているのか。ネットいじめに對しての対策と成果は。児童・生徒のネット依存を把握し、きめ細かい対応を。フィルタリングはトラブル回避に一定の効果があると考えるがWi-Fiを介してインターネットへ接続した場合は、フィルタリングは機能しないといった課題がある。区で対策を立てるべきでは。フィルタリングの設定などについて、更なる啓発等の取

り組みを。学校で子どもたち自身がインターネットに関するルールづくりを行っては。不適切な睡眠習慣は学力や運動能力へ影響し、非行や不登校などの問題行動等へのリスクが指摘されているが子どもの睡眠不足や睡眠障害をどのように捉えているのか。

関と連携して解決した事例がある。品川区いじめ根絶協議会で、まず親が責任を持ち管理することが重要だとの意見があり、携帯電話のルールを親子でつくるためのリーフレットを作成し、保護者に働きかけている。無料Wi-Fiの利便性とデータ流出の危険性等について、子どもと保護者の双方に呼びかけていく。各学校では家庭教育ブックを活用し、保護者会等で啓発している。全校の児童・生徒会役員が集まる懇談会で、既にネットいじめについて話し合っている。睡眠の確保は心身の健全な成長に重要と認識しているが、睡眠状況の把握・改善と不登校の解消については、関連性も含めて今後の研究課題と考えている。

本会議・委員会の日程(予定)

Table with columns: 会議名, 開催日時, ケーブルテレビ放送. Rows include 本会議, 常任委員会 (総務, 民生, 建設, 文教), 議会運営委員会, 特別委員会 (行財政改革, オリンピック・パラリンピック推進, 予算, 総括質疑).